

社会福祉法人 中央福祉会

特別養護老人ホーム サンシエン 三思園

〒030-0132 青森市大字横内字若草1-1

Te l : 017-728-1133

F A X : 017-728-1410

代 表 者 : 施設長 櫻庭 雅子

創 業 : 平成3年5月

従 業 員 : 44名 (うち障害者1名)

本事業で雇用した障害者数 : 1名 (9月より雇用)

事業内容 : 特別養護老人ホーム事業、デイサービス事業等の経営

障害者の業務内容 : 介護業務



事業所紹介



(施設正面)

特別養護老人ホーム三思園は青森市内で「愛あれ・知恵あれ・真実あれ」を基本理念としながら特別養護老人ホーム事業やデイサービス事業を行なっています。

「障害者雇用掘り起こし事業」により雇用した障害者の勤務状況などについて、ホームの代表である施設長の櫻庭さん、業務についての指導を行っている介護主任の渡部さんにお話をうかがって参りました。

Q 障害者を雇用したきっかけ、理由等は？

櫻庭さん(施設長) ここ3年間、青森第二養護学校の生徒さんの実習を受け入れてきましたが、実習生の皆さんはとてもまじめに仕事を行っていました。そしてその一生懸命な姿は、周りの職員や施設の利用者さんへ良い影響を与えておりました。

このような経験から、障害者の方へ「仕事にやりがいを感じてもらいながら一緒に働いてもらいたい」と思うようになりました。

私共は実習の受け入れは行なってきましたが、雇



(櫻庭施設長)

用は初めての経験となるので、最初は不安もありました。しかし今回、「障害者雇用掘り起こし事業」を活用し雇用した大川さんには非常によく働いてもらっていますし、1月に養護学校の生徒さんの実習を受け入れる予定で、実習を経て知的障害者の雇用も行なっていきたいと思っています。(大川さんは聴覚に障害をお持ちで、補聴器の装着と読唇で相手の言葉を聴いています。)



(利用者さんの爪を切る大川さん)

Q 大川さんの業務内容や仕事振り等についてはどのようなものでしょうか？

櫻庭さん おむつ交換や食事介助など介護業務全般を行なっています。就業直後は利用者さんとの意志の伝達がうまくいかないことや聞き違い等もありましたが、持ち前の真面目な性格による努力と一生懸命さで、時間とともにそれらは無くなってきています。また、利用者さんの方からも意思を分かりやすく伝えようとする思いやりのようなものが生まれているようですし、良い影響が周りの人へ伝播していつています。大川さんは笑顔も素敵ですし、そこも皆さんに人気があるんですよ。

渡部さん(指導担当) 大川さんにはまず全体の業務の流れと利用者さんの顔を覚えてもらいました。業務に慣れるまでは担当職員が1対1で指導を行なっていましたが、大川さんがホームヘルパー2級の資格を持っていることや以前高齢者施設で働いていた経験もあることから、もう今は1人で業務を行なっています。それぞれの業務のリーダーから話を聞いても特に問題なく、他の職員と遜色なく働いています。



(写真右：渡部介護主任)

Q 雇用する上で心がけている部分等を教えてください。

櫻庭さん 大川さんは補聴器を装着していますので、水に濡れる可能性のある入浴介助は避ける等、障害の特性に合わせて業務に充てています。また、後ろから話しかけるときは肩に手をかけて、呼びかけてから話をするようにしています。

Q 最後に障害者雇用に対するご意見等をお願いします。

櫻庭さん 他の事業主の皆様も、初めて障害者を雇用する時には不安を持つと思います。ですが、障害の特性に合わせて業務を担当してもらおうと一生懸命に働いてもらえますので、国や県、その他の制度を利用しながら実習の受け入れや雇用をしてみたいかと思っています。



ここからは大川さんにお話をうかがっていきたいと思います。

お名前：大川 清

障害種別：聴覚障害

勤務時間：9時～18時（うち休憩1時間）
（週40時間）

通勤方法：自らの運転で自家用車使用



（大川 清さん）

Q 大川さんはなぜ介護の仕事をしたのでしょうか？

大川さん 前の職場が閉鎖になった後、家で洗濯や掃除等の家事を行なっているときに、「こういうことを仕事としてやっていけないのではないかと考え、ホームヘルパー2級の資格を取得しようと思いました。それでも最初は、「聴覚に障害を持っていると、介護の仕事は無理なのか」と思うこともありましたが、私が資格を取得したビジネススクールの先生から、「大川さんは体力があるし、頑張れば介護の仕事もできますよ」とアドバイスをもらい、それを励みに資格の取得と介護業界への就職をすることができました。



（食事介助を行う大川さん）

Q 仕事についての感想などをお願いします。

大川さん 働き始めた9月は緊張と不安を感じ、仕事に慣れるのには1カ月ほどかかりました。周りの職員の皆さんは親切に仕事を教えてくれましたので、とても感謝しています。

また、利用者さんとのコミュニケーションも最初の頃はうまくいかないこともありましたが、利用者さんの方からも親切にしてくれて、意思の疎通がうまくできるようになりました。

Q 仕事をしていく上で気を付けていることはありますか？

大川さん 利用者さんとコミュニケーションをとるときは、身振りや手振り等を使い、お互いの意思が伝わるように努力をしています。

Q 休日はどのように過ごされていますか？

大川さん 子どもがいるのでデパートへ連れて行ったりしています。



※三思園では保育園との合同お遊戯会やクリスマス会等、利用者さんが楽しめる行事が毎月行なわれています。大川さんは仕事が終わった後に練習を重ね、先日行なわれたクリスマス会でも、演劇やハンドベルの演奏で活躍されていたそうです。

担当後記

大川さんは「利用者さんとのコミュニケーションが最初はうまくいかなかった」とおっしゃっていました。

しかし、私が大川さんと話をしている中で見えた、

- ・相手の言っていることを聞き漏らさず正確に理解しようという真剣な姿勢
- ・自分の思っていることを相手に丁寧に分かりやすく伝えようという姿勢

からは誠実な人柄を感じました。

また、聴覚に障害を持ちながら取得に130時間（座学及び実習等）もの時間が掛かるホームヘルパー2級を取得されたことから、大川さんは努力を積み重ねてきた方だと思いました。

これらのことから、利用者さんとのコミュニケーションについても誠実に努力を積み重ね続けたため、短期間で意思疎通がうまくできるようになれたのだろうなと感じました。

そして、実際にお昼に仕事をしているときに見学させていただいた、

- ・利用者さんに声を掛けながら配膳する様子
- ・「おいしいですか？」等と声を掛けながら食事介助を行う様子

がそれらを物語っているようでした。